

指導教員名	長坂泰之
-------	------

活動区分	地域活性化型	連携先	自治体・県
	高業活性化型		陸前高田商工会
			陸前高田厚み春株式会社

# ～ 高田松原周辺に來訪する観光客にいかにしてまちなかに来ていただくか！ （ゼミ合宿において陸前高田市の新しい観光ルートの提案）～

## 活動の様子



オンラインで陸前高田の方々からお話を伺い、ゼミ生一人一人が陸前高田の新しい観光ルートのたたき台を作成しました。2022年9月に3日間、陸前高田に訪問(合宿)し、戸羽市長や事業者の皆様とヒアリングを実施し、その後フィールドワークを行いました。合宿最終日に、陸前高田商工会において、観光ルートの提案をしました。

## 企画・活動概要

事前にオンラインで陸前高田の方々からお話を伺い、ゼミ生一人一人が陸前高田の新しい観光ルートのたたき台を作成しました。その案を持って2022年9月に3日間、陸前高田に訪問し、戸羽市長、市役所、陸前高田商工会、陸前高田はまなる株式会社や事業者の皆様から、復興までの道のり、ご苦労、現在の悩みをヒアリングしました。その後フィールドワーク、たたき台の修正を経て、最終日にゼミ生一人一人が陸前高田市の新しい観光ルートを提案しました。さらに現地での報告会の後に大学において、アドバイス事項を修正し、11月にオンラインで最終報告会を実施しています。



陸前高田市は震災追悼施設などには観光客が来ますが、その観光客がまちなかまで回遊しないことが課題でした(写真は追悼施設)。

## 経緯・背景・目的

元々、担当教員は前職で陸前高田の復旧・復興の支援をしていました。陸前高田市は2011年3月11日の東日本大震災の津波被害でまちは壊滅的な被害を受けました。その後、復興が進み、市内沿岸部の津波伝承館などの観光地には、多くの観光客が来訪していますが、まちなかを来訪する観光客は一部でまちなかの魅力が十分に認知されていない状況でした。そこで、まちなかを含む陸前高田の魅力「見える化」し、観光ルートとして提案することによってまちなかの活性化に寄与することを目的としました。



ゼミ教員が陸前高田市の復旧・復興支援の繋がりで今回の共創活動が実現しました(写真は、SWOT分析結果報告)。

## 取り組む課題

前述のとおり、陸前高田市は東日本大震災の津波被害で、まちなかは壊滅的な被害を受けました。復興が進み、市内沿岸部の津波伝承館などの観光地には、多くの観光客が来訪していますが、まちなかを来訪する観光客は一部でまちなかの魅力が十分に認知されていない状況でした。そこで、まちなかを含む陸前高田の魅力「見える化」し、観光ルートとして提案することによってまちなかの活性化に寄与することを目的に活動しました。



ヒアリングを通して様々な課題や可能性を共有することができました。

## 本学(学生)の役割

学生の役割は、陸前高田市の新たな観光ルートの提案です。具体的には、以下のPDCAのマネジメントサイクルを回すことで、観光ルートの素案をブラッシュアップしました。(P)情報収集(zoom、ネット)、素案の作成、(D)現地ヒアリング・フィールドワークを経て提案、(C)報告会でアドバイスをを受けてプラン修正、(A)修正プランをzoomにて現地に報告をしました。



学生の役割は、魅力的な観光ルートの提案です。真剣かつ楽しく最終のオンライン報告会を終えることができました。

## 活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

学生の振り返りでは、社会人基礎力のうち、特に「考え抜く力」が成長したようです。陸前高田の観光ルート提案を通じて、「創造力」「計画力」が特に身についたと言います。陸前高田の現地の方が気づかない魅力や組み合わせを発見し、オリジナルのアイデアを考案し、提案報告会のプレゼンで高い評価を受けた学生もいました。



現地の方が気づかない魅力や組み合わせを発見することを通じて、特に「創造力」「計画力」が身についたと言います。

## 指導教員および関係者の紹介

### <指導教員>



商学部  
マーケティング学科  
准教授  
長坂泰之(ナガサカ ヤスユキ)  
＜専門・担当科目等＞  
流通政策、中小企業経営、震災復興

### <関係者・企業等>

陸前高田市役所  
市長(当時)  
戸羽太(トハ フトシ)

チャレンジの長坂泰之ゼミナールです。「商業まちづくり」に興味がある学生大歓迎！大きく変化する時代と真ん中にみんなは生きてます。そして、みんなにはこれからたくさんビッグウェーブが訪れます。ゼミ活動で様々なチャレンジをして自分を磨いて、ビッグウェーブの波に乗れる人材になって欲しいと思っています。

陸前高田市は2011年3月11日の東日本大震災の津波被害でまちは壊滅的な被害を受けました。担当教員は、前職で陸前高田市の震災復興に携わり、戸羽市長のリーダーシップを仕事を通じて見てきました。今回のゼミ合宿での提案に当たっても、現地で戸羽市長からまちなかの課題などのお話を聞き、提案の参考にさせていただきます。